

# 展覧会スケジュール 2022.4-2023.3

※展示替え期間【2館共通】 6/20(月)▶7/1(金)、9/26(月)▶10/7(金)  
11/28(月)▶12/9(金)、3/13(月)▶3/24(金)

宮本三郎美術館 ▶▶ 月曜休館（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日除く）、展示替え期間、年末年始は休館

企画展

## 春夏秋冬 ～宮本三郎を中心に～

2022. 3/19 (土) ▶ 6/19 (日)



《日本の四季「酪農」(春)》(部分) 1946年



《日本の四季「地曳網」(夏)》(部分) 1946年



《日本の四季「収穫」(秋)》(部分) 1946年



《日本の四季「伐採」(冬)》(部分) 1946年

春夏秋冬それぞれの季節を感じる作品、宮本三郎がアトリエで感じる四季を紹介。宮本三郎《日本の四季》を大公開。

企画展

## 宮本三郎先生の やさしい絵画教室

7/2 (土) ▶ 9/25 (日)



洋画界の若手育成に尽力した宮本三郎。絵画の指南書も多く出版した。本展では秀逸な入門書とされる「少年の画室」をテーマとして、宮本の指南で絵画を学ぶ展覧会。

特別展

## ラクガキ大決戦第2弾！ チーム宮本 VS 小松の親子

10/8 (土) ▶ 11/27 (日)



2019年のラクガキ大決戦の展示風景



ドローイング 2021年  
小澤基弘

「親子でラクガキ1000枚プロジェクト」で描かれた1000枚のドローイング作品と、講師の小澤基弘氏・荒井良二氏をはじめ審査員・委員・スタッフなどデッサン大賞展関係者のドローイング1000枚を一挙公開する参加型展覧会。

企画展

## 宮本三郎の軌跡

12/10 (土) ▶ 2023. 3/12 (日)



《百合・ミモザ》1967～71年頃

宮本三郎の生涯にわたる画業の移り変わりを紹介。初期・従軍・疎開・戦後・晩年に分期しそれぞれを紹介する。

宮本三郎ふるさと館 ▶▶ 月曜休館（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日除く）、展示替え期間、年末年始は休館

企画展

## 宮本三郎のかお・KAO・顔

2022. 3/19 (土) ▶ 6/19 (日)



《スカーフの女》1959～61年頃



《羽帽子の踊子》1964年

人物を多く描いた宮本三郎。なぜ人物を描くのか、こだわりはどこにあったのか、宮本三郎の人物画に着目。

企画展

## あなたは どうみる？ ～不思議な絵の魅力～

7/2 (土) ▶ 9/25 (日)



畑 尚治《ウマ》1970年



《流水（犀川）》1959年

よくみると、謎が深まる、案外と不思議な絵。作品の読み解き方を紹介。

企画展

## 足跡をたどる ～画家・宮本三郎の生涯～

10/8 (土) ▶ 11/27 (日)



《婦女三容》1935年

宮本三郎はどんな一生をたどり、どんな作品を描いたのか。波乱の戦争と戦後急成長の社会の中、たくましく生きた画家の生涯を追う。

企画展

## ちょっとお寄りください ～宮本三郎にまつわるエトセトラ～

12/10 (土) ▶ 2023. 3/12 (日)



《絵皿「裸婦」》制作年不詳

宮本三郎に関する遺品、書籍、資料、写真と作品を公開し、宮本三郎を身近に感じてもらう展覧会。展示品の知られざる豆知識やエピソードも紹介。

## イベント

子どもから大人まで様々な世代に美術に親しんでいただくため、ワークショップやコンサートなどを開催しています。

詳細は、HP またはお電話にてお問合せ下さい。



<https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/miyamotosaburoubijutsukan/index.html>

## 小松市立 宮本三郎美術館

### 親子でラクガキ 1000 枚プロジェクト 2022年8月11日(木・祝)【要申込】

講師：小澤基弘(埼玉大学教育学部 教授・画家)  
：荒井良二(絵本作家・イラストレーター)



子どもも  
大人も  
ラクガキ  
しよう!

### 学芸員ギャラリートーク

学芸員による作品の解説会を定期的に行っています。

### アート・デリバリー

【随時受付・無料・要申込】

学芸員が学校や公民館などに作品を持参し、美術作品の楽しみ方についてお話しします。

## 小松市立 宮本三郎ふるさと館

### 親子凧作り教室 冬期イベント【要申込】



親子で凧作り、  
凧あげに挑戦しよう!

## 宮本三郎記念デッサン大賞展

デッサンの名手と呼ばれた宮本三郎を顕彰し誕生した、デッサンの全国公募展です。

新着情報、過去の入賞・入選作品は HP をご覧ください。



<https://miyamoto-dessin.com/>

## ご利用案内

### 小松市立 宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町 5  
TEL 0761-20-3600 / FAX 0761-24-3374  
メールアドレス [mism@city.komatsu.lg.jp](mailto:mism@city.komatsu.lg.jp)

#### 開館時間

午前 9:00 ~ 午後 5:00(入館は 4:30 まで)

#### 休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日除く)、  
展示替え期間、年末年始(12/29~1/3)

#### 入館料

300 円 ※特別展の観覧には、別途料金が生じる場合があります。  
※20 名以上の団体は 250 円 ※高校生以下無料  
※障がい者手帳等お持ちの方、および「ミライID」提示者と介助者1名は無料

#### こまつミュージアム・パス

1 週間券 / 500 円	1 年間券 / 1,500 円
---------------	-----------------

市立博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館・錦雲展示館  
尾小屋鉱山資料館・埋蔵文化財センター・勤進帳ものがたり館を  
期間中何度でもご覧いただけます。  
※特別展の観覧には、別途料金が生じる場合があります。

### 小松市立 宮本三郎ふるさと館

〒923-0982 石川県松崎町 16-1  
TEL / FAX 0761-43-3032

#### 開館時間

午前 9:00 ~ 午後 5:00(入館は 4:30 まで)

#### 休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日除く)、  
展示替え期間、年末年始(12/29~1/3)

#### 入館料

無料 ※特別展の観覧には、別途料金が生じる場合があります。

## 交通案内

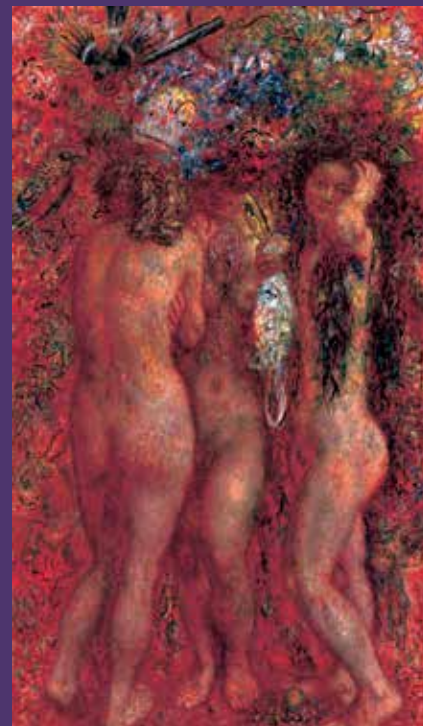


宮本三郎美術館 JR 北陸線「小松駅」より徒歩 15 分、タクシー 5 分  
北陸自動車道「小松 I.C.」より車で約 10 分  
小松空港よりタクシーで約 10 分

宮本三郎ふるさと館 北陸自動車道「小松 I.C.」より車で約 12 分  
小松空港よりタクシーで約 10 分  
宮本三郎美術館より車で約 12 分

# MIYAMOTO Saburo Museum Schedule & Information

## 2022.4 - 2023.3



〈レ・トロワ・グラス〉1970年

小松市立

宮本三郎美術館

宮本三郎ふるさと館

## 施設案内

### 小松市立 宮本三郎美術館

小松市出身の洋画家宮本三郎の作品を展示する美術館として 2000 年に開館しました。建物は昭和 16 年の石張り倉庫棟と、ガラス張りの新館をブリッジでつなぎ「歴史と伝統」「未来への展望」をコンセプトとしています。館内には展示室、ミュージアムショップがあり、カフェも併設されています。



美術館外観



展示室-1



ミュージアムショップ

### 小松市立 宮本三郎ふるさと館

宮本三郎の生誕地、小松市松崎町にある分館。作品とあわせて資料や愛用の品などを展示しており、宮本三郎の人となりを身近に感じることができます。



ふるさと館外観